

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

「病床機能の分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する研究」
分担研究報告書（平成 27 年度）

【実地検証班】地域医療構想の推進に資する急性期指標の開発

研究代表者 今村 知明（奈良県立医科大学 教授）

研究分担者 野田 龍也（奈良県立医科大学 講師）

研究要旨

本分担研究では、病床機能報告の公表データを用いて、高度急性期・急性期を特徴づける指標（急性期指標）を試行的に開発するとともに、その解釈や問題点を検討した。具体的には、2014 年病床機能報告（報告病院数：7,302 施設）をもとに、項目選定、項目の縮約、病床規模の補正、スコアの標準化、合算による急性期指標の作成、の 5 つの段階を経て、急性期指標を作成した。

作成された急性期指標は、誤入力の影響が一定程度認められるものの、各都道府県で適切な病床機能のあり方を議論するためのツールとして利用可能であると考えられた。なお、本急性期指標は病院全体の傾向を示すものであり、病棟単位の議論や病院に単一の機能を割り当てるためには用いることができない点、ケアミックス病院や特定の傷病に特化した病院ではスコアと実態が乖離する可能性がある点に留意すべきである。

A．研究目的

地域医療構想においては、病床機能報告を有効に活用することにより、病床機能の自然な分化を促すことが求められる。一方で、病床機能区分における高度急性期・急性期の定義は必ずしも明らかではなく、一定の定義付けが求められている。

本分担研究では、病床機能報告の公表データを用いて、高度急性期・急性期を特徴づける指標（急性期指標）を試行的に開発し、その解釈や問題点を検討することにより、適切な病床機能分化を促進し、地域医療構想の推進に貢献することを目的としている。

B．研究方法

急性期指標の作成にあたっては、2014 年に行われた病床機能報告（報告病院数：7,302 施設）をもとに、「1．項目選定」、「2．

項目の縮約」、「3．病床規模の補正」、「4．スコアの標準化」、「5．合算による急性期指標の作成」、の 5 つの段階を経た。具体的な手順は以下の通りである：

1．項目選定

医師及び看護師からなる数名程度の合議体を形成し、2014 年度病床機能報告（411 項目）を対象に、主たる診療分野が急性期である病院が満たしやすいと思われる 217 項目を選定した。たとえば、看護師数については、「その他の部門」に精神科の看護師が多く含まれていると考えられたため、「その他の部門」を対象から外し、看護師数に関する他の項目を対象に入れた。

2．項目の縮約

選定された項目のうち、同種の項目について一つの項目へ縮約（＝集約）したものがあ

る。例えば、病床機能報告（およびその中から研究班で選定した急性期の性質が強い項目）には、CT に関する項目として「マルチスライス CT 64 列以上」、「マルチスライス CT 16 列以上 64 列未満」、「マルチスライス CT 16 列未満」、「その他の CT」の 4 項目がある。この 4 項目は同種の項目であるため、後述の医療機器に関するポイント算出方法に従って縮約し、最終的には「CT」という名称の 1 項目へ縮約を行う。このような縮約操作を看護師や薬剤師、CT などの項目に対して行う。これにより、「81.1.項目選定」で選定された 217 項目が 70 項目へ縮約された。縮約後の 70 項目を表 8.1 に示す。

なお、縮約の際に研究班が行った操作は以下の通りである。

看護師数に関する複数の項目については、精神科担当看護師が多く含まれると推定された項目を除いた 8 項目の数値を合算し、「看護師」という一つの項目へ縮約した。薬剤師についても精神科を担当する薬剤師が数に含まれていることが想定されるが、病院によっていずれの部門に計上しているかが異なるため、施設全体の常勤・非常勤別職員数を合算のうえ、精神科の病床数と精神科以外の病床数で按分し、精神科以外の薬剤師数を算出した。助産師、臨床工学技士については、精神科病棟に勤務する機会が少ないと考えられることから按分は行わず、施設全体の常勤・非常勤別職員数を合算したものをを用いた。

新規入棟患者数、退棟患者数、分娩件数等については病棟ごとの患者数を合算した。休日に受診した患者延べ数、夜間に受診した患者延べ数等については施設全体の患者数を用いた。

医療機器については、項目を縮約した後、特定の機器を保有していれば台数に関わら

ず 1 ポイント、保有していなければ 0 ポイントとして機器種別ごとに算出した（例えば、縮約後の項目「CT」について取りうるポイントは、CT の機種・保有台数に関わらず 0（CT なし）または 1（何らかの CT を保有）の二値である）。以上の方式で種別ごとのポイント数を合算して病院のポイント数を算出した。

具体的な医療の内容に関する項目における各診療行為については、施設全体のレセプト算定日数に 12 を乗じたものを年間推計値として用いた。なお、診療報酬請求上、算定日数とレセプト件数が同一となる項目については、レセプト件数を用いて算出した。

3. 病床規模の補正

病床数による影響を補正するため、縮約された 70 項目それぞれについて、一般病床・療養病床の許可病床数の合算値で割り、病院ごとに病床規模を補正した「許可病床 1 床当たり」の数値を算出した。

補正対象は、許可病床と稼働病床のいずれで行うべきか議論した結果、今回の急性期指標については許可病床で補正することとした。

4. スコアの標準化

病床規模で補正された各項目について、その項目の数値が「0」または欠損値である病院を一旦除外し、0 を超える数値が報告されている病院のみを対象に、その項目の平均値と標準偏差を算出した。次に、その項目の平均が 50、標準偏差が 10 となるように病院ごとのスコアを算出した（つまり、各病院の報告数値を全国における偏差値へ変換した）。その項目の値が「0」または欠損値であった病院については、合議の結果、スコアを「0」とした。

5. 合算による急性期指標の作成

各項目のスコアを病院単位で合算し、各病院の急性期指標とした。なお、見やすさのため、合算したスコアを 50 で割る操作を行った。

急性期指標の作成過程を図 8.1 に示した。

(倫理面への配慮)

本研究は施設の特性値(静態・動態統計)を用いた政策研究であり、個人を特定できる情報は扱っておらず、倫理上の問題は生じない。

C. 研究結果

全国 7,302 施設を対象とする急性期指標の最大値は 89.76、最小値は 0.00、平均値は 20.51、標準偏差は 12.87 であった。

全国で見た場合、数値の誤報告によると思われるスコアが散見されたが、おおむね、急性期医療を重点的に行なっていると考えられる病院が大きなスコアを獲得した。

都道府県別に見た場合、大阪府、奈良県、熊本県などでは、おおむね妥当と思われるスコアが得られたが、病院数が多い東京都では必ずしも急性期医療を重点的に行っているとは言えない病院が大きなスコアを獲得する例が目立ち、数値の誤報告によるスコアへの影響が認められた。

急性期指標の例として、奈良県の病院における急性期指標スコアの一覧を図 8.2 に示した。(なお、奈良県のスコアは分散の標準化を行わない計算方式で算出しているため、上記の計算方法で算出されるスコアとは異なる。ただし、順位はほぼ同じである。)

D. 考察

病床機能における「急性期」の普遍的、定

量的な定義は存在しない。しかしながら、議論の参考資料として、病床機能区分を示す何らかの指標があることが好ましく、本急性期指標はその目的のために作成された。

本指標の前提となる病床機能報告は、病棟単位の情報と病院単位の情報が混在しているため、本指標は病棟単位の議論には用いることができず、「その病院全体が、他の病院と比較してどれほど急性期的であるか(急性期医療を主体としているか)」を見える化するものである。

指標を構成する項目は、病院機能報告の項目の中から、急性期を主体とする病院で値が大きくなると思われる項目を、奈良県立医科大学の医療専門職 3 名が選定した。そのため、指標の取捨選択はさらに精緻化する余地があり、自治体の担当者や研究者は、項目の選定や重みづけ、標準化の方法に工夫を加えることで、より洗練された急性期指標を作ることが可能である。

一方、項目を一部入れ替えたり、過大な外れ値を入力したり、重みづけを一部に施したりするなどのストレステストにおいても、急性期指標の全体的な傾向は大きく変わらなかったため、病院の急性期傾向をみる指標としては、一定の使用に耐えるものと考えられる。

今回使用した 2014 年度病院機能報告はデータクリーニングが終わっていない初期段階のデータであり、過大または過小な数値が散見される。奈良県の病床機能報告を対象とした精査から、報告された数値の 5%程度は正しくない数値が入力されていると想定される。本指標が一定の誤りを含むことに留意する必要がある。ただし、都道府県単位で見た場合、誤入力の影響が目立つのは東京都であり、他の道府県については、(誤入力によるスコアの歪みは同程度存在するもの)病

院数がさほど多くないため、影響が目立つほどではない。

本指標を利用する際の解釈上の注意点は以下の通りである。

- 他の病院に比べてどれくらい急性期を主体とした医療を行っているかの相対的な傾向を示す指標である。
- 病院全体に「急性期」「回復期」といった単一の機能を割り当てるものではない。ほとんどの病院では複数の機能が並存している。
- 本急性期指標に特定の閾値を設定することはできない。つまり、特定のスコアで切って、それ以上の病院を高度急性期、それ未満を急性期・・・といった切り分けを行うことは想定しておらず、また行うべきでもない。あくまで、急性期傾向の度合いである。
- 病院単位の傾向を示すものであり、病棟単位の議論には用いることができない。急性期病棟の割合で割り戻す等の操作を行っても結果が極端に歪むことが分かっている。
- 病院の何らかのランキングを表すものではなく、その目的として利用することもできない。適切な病床機能のあり方を議論するツールの一つである。
- 項目の選定は急性期医療のみを念頭に行われたため、指標を逆転しても、その病院がどれくらい「慢性期」的であるかを示すためには用いることができない。つまり、慢性期指標としては使えない。
- 2014 年度調査の結果であり、結果は毎年変動する。
- データクリーニング前の異常値の多いデータによる指標である。
- 誤入力の影響でスコアが変動するため、

各病院に対し、より実態に即した病床機能報告をお願いするための参考資料となる。

- ケアミックスの病院では、急性期医療と慢性期医療を兼担しているため、病院の実態より低いスコアが出ることが分かっている。
- 特定傷病（循環器疾患や小児疾患、内分泌疾患など）に高度に特化した病院や国立高度専門医療研究センター（ナショナルセンター）では、病院の実態とスコアが乖離しやすい。

本報告書の執筆時点では、本急性期指標は全国版（全国の中における位置づけ）を示すものとなっている。しかし、人口規模や医療需要の態様が大きく異なる全都道府県を同じ地平で評価することには無理がある。そもそも、地域医療構想は都道府県単位（あるいはその下位の構想区域単位）で施策を検討する必要が有ることから、急性期指標は都道府県単位で算出することが望ましい。

また、本指標では、偏差値を用いることで誤報告（外れ値）の影響を一定程度小さくしているが、それでも影響は残っている。今後は、誤報告（外れ値）の取り扱いを定める必要がある。予備的な検討では、全国単位で観察して、各項目で、99.5～99.9 パーセントイル値以上（最大値に近い方の 37～7 病院）を外れ値の候補とし、その候補のうちから、前年度の病床機能報告から数値が過大に変動したものを外れ値と認定する方法が望ましいと考えられた。

さらに、本指標は、「急性期医療を主体とする病院であれば満たすであろう」項目を多数選定して作成されており、多重共線性の問題について議論を尽くす必要がある。現在の手法は、少数項目を恣意的に満たすような行

動に対して頑健であるため、項目を絞るべきか否かは一概には言いづらいが、今後の重要な検討課題である。

E. 結論

2014 年度病床機能報告を用いて、急性期医療を主体として行っている傾向を示す急性期指標を作成した。解決すべき問題点は残るものの、各都道府県で適切な病床機能のあり方を議論するためのツールとして利用可能であると考えられた。

F. 健康危険情報

無（非該当）

G. 研究発表

1. 論文発表

赤羽学、高橋美雪、野田龍也、今村知明、奈良県をモデルとした介護保険施設および訪問看護サービスの需要予測。地域ケアリング。2015 Sep;17(10):77-79

2. 学会発表

- 1) 2015 年 11 月 04 日～2015 年 11 月 06 日（長崎県、長崎ブリックホール）。第 74 回日本公衆衛生学会総会。地域医療構想の実現へ向けての検討（1）全体像の俯瞰。今村知明、渡辺顕一郎、西本莉紗恵、吉井克昌、野田龍也。
- 2) 2015 年 11 月 04 日～2015 年 11 月 06 日（長崎県、長崎ブリックホール）。第 74 回日本公衆衛生学会総会。地域医療構想の実現へ向けての検討（2）課題の整理。野田龍也、渡辺顕一郎、西本莉紗恵、吉井克昌、今村知明。

- 3) 2015 年 11 月 04 日～2015 年 11 月 06 日（長崎県、長崎ブリックホール）。第 74 回日本公衆衛生学会総会。地域医療構想の実現へ向けての検討（3）奈良県における取り組み。渡辺顕一郎、西本莉紗恵、吉井克昌、野田龍也、今村知明。
- 4) 2015 年 11 月 04 日～2015 年 11 月 06 日（長崎県、長崎ブリックホール）。第 74 回日本公衆衛生学会総会。地域医療構想の実現へ向けての検討（4）病床機能報告の分析。西本莉紗恵、今村知明、渡辺顕一郎、吉井克昌、野田龍也。
- 5) 2015 年 11 月 04 日～2015 年 11 月 06 日（長崎県、長崎ブリックホール）。第 74 回日本公衆衛生学会総会。地域医療構想の実現へ向けての検討（5）救急搬送の観点から。吉井克昌、西本莉紗恵、渡辺顕一郎、野田龍也、今村知明。
- 6) 2015 年 11 月 19 日～2015 年 11 月 14 日（東京都、東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート）。第 16 回日本クリニカルパス学会。地域医療ビジョンを考える。今村知明、副島秀久。

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

無

2. 実用新案登録

無

3. その他

無

表 8.1 縮約後の項目

◆ 対象となる項目の選定

急性期指標を構成する項目（縮約後）70 項目

【構造設備・人員配置等に関する項目】

● **4. スタッフの配置：4 項目**

- ・看護師
- ・助産師
- ・薬剤師
- ・臨床工学士

● **5. 入院患者・救急医療の状況：6 項目**

- ・新規入院患者数
- ・うち救急の予定外入院
- ・退棟患者
- ・休日に受診した患者延べ数
- ・夜間に受診した患者延べ数
- ・救急車の受入件数

● **6. 医療機器：7 項目**

CT、MRI、血管連続撮影装置、SPECT、PET/PETCT、強度変調放射線治療器、遠隔操作式密封小線源治療装置、大動脈バルーンパンピング法、補助人工心臓

【具体的な医療の内容に関する項目】

● **8. 総合入院体制加算 1、2 にかかる施設基準：3 項目**

- ・全身麻酔による手術件数
- ・腹腔鏡下手術
- ・分娩件数

● **9. 手術件数：4 項目**

- ・総手術件数
- ・胸腔鏡下手術
- ・脳外科的手術
- ・経皮的冠動脈形成術

● **10. がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況：9 項目**

- ・悪性腫瘍手術
- ・病理組織標本作製
- ・術中迅速病理組織標本作製
- ・放射線治療（体外照射法）
- ・化学療法
- ・がん患者指導管理料 1 及び 2
- ・抗悪性腫瘍剤局所持続注入
- ・肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入

- ・超急性期脳卒中加算

● **11. 入院基本料の算定/年間推計：11 項目**

- ・特定機能病院入院基本料
- ・救命救急入院料
- ・特定集中治療室管理料
- ・ハイケアユニット入院医療管理料
- ・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
- ・小児特定集中治療室管理料
- ・新生児特定集中治療室管理料
- ・総合周産期特定集中治療室管理料
- ・新生児治療回復室入院医療管理料
- ・小児入院医療管理料
- ・短期滞在手術等基本料

● **12. 救急医療の実施・重症患者への対応/年間推計：20 項目**

- ・ハイリスク分娩管理加算
- ・ハイリスク妊産婦共同管理料（ ）
- ・観血的肺動脈圧測定
- ・大動脈バルーンパンピング法
- ・経皮的心肺補助法（PCPS）
- ・補助人工心臓・植込型補助人工心臓
- ・頭蓋内圧持続測定（3 時間を超えた場合）
- ・人工心臓
- ・人工透析（持続緩徐式血液濾過、血漿交換療法、吸着式血液浄化法、血球成分除去療法、人工腎臓、腹膜灌流）
- ・院内トリアージ実施料
- ・夜間休日救急搬送医学管理料
- ・救急医療管理加算 1 及び 2
- ・救命のための気管内挿管
- ・非開胸的心マッサージ
- ・カウンターショック
- ・中心静脈注射
- ・呼吸心拍監視
- ・観血的動脈圧測定（1 時間を越えた場合）
- ・ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄
- ・人工呼吸（5 時間を超えた場合）

● **15. 疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況：6 項目**

- ・心大血管疾患リハビリテーション料
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料
- ・運動器リハビリテーション料
- ・呼吸器リハビリテーション料
- ・がん患者リハビリテーション料

・早期リハビリテーション加算

(参考) 急性期指標として不適またはデータ不備により構成指標に採用しなかった項目

病院機能報告にない奈良医大独自の検討項目を含む。

● **4. スタッフの配置**

医師、准看護師、看護補助者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

● **6. 医療機器：7項目**

大動脈バルーンパンピング、補助人工心臓

● **5. 入院患者・救急医療の状況**

在棟患者延べ数、予定入院の患者・院内他病棟からの転棟患者、救急以外の予定外入院

● **7. 院内保有設備**

手術室、リハビリ室、ER、ICU、CCU、HCU、SCU、NICU、GCU、MFICU、熱傷ベッド、産婦人科病床、精神科病床

● **8. 総合入院体制加算 1、2にかかるとする施設基準**

人工心肺を用いた手術、第三次救急(24時間体制救急実施)、第二次救急(24時間体制救急実施)、救急告示、精神科病床有り/24時間対応、地域包括ケア病棟

● **11. 入院基本料の算定/年間推計**

一般病棟 7 対 1 入院基本料、一般病棟 10 対 1 入院基本料、一般病棟 13 対 1 入院基本料、一般病棟 15 対 1 入院基本料、一般病棟特別入院基本料、一般病棟特定入院基本料、療養病棟入院基本料 1・2・特別基本料、難病等特別入院診療加算、障害者施設等入院基本料、特殊疾患病棟入院料、回復期リハビリテーション病棟入院料、亜急性期入院医療管理料、地域包括ケア病棟入院料・医療管理料、緩和ケア病棟入院料

● **13. 疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況**

障害児(者)リハビリテーション料、難病患者リハビリテーション料

図 8.1 急性期指標の作成

病院プロファイリング

病床機能報告・個票データや病院機能に関する他の県庁保有情報、医療関係者等からのヒアリングを、「一病院一行(数行以内)」の形式に統合し、デルファイ法により各病院(病棟)の病床機能分類を行う試み。

1

急性期指標の作成

医師、看護師の合議体で指標を選抜。具体的には、病床機能報告の411項目から、主たる診療分野が急性期であるような病院が満たしそうな217項目を選び、平均値や分散を標準化して、全項目の合計値を算出。

2

急性期指標の元データの作成

- 2014年病床機能報告「個票データ(年間)」と「レセプト基本項目(6月診療分)」を利用して作成。

連番	D(通知記録の1行コード)	新造府庁番号 医療機関コード	看診科 診療科目	医療機関 コード	病院名	施設全体の職員数								
						(1)看護員		(2)常勤医師		(3)非常勤医師		その他		施設全体の職員数
						常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
4826	230188	59	0301347	医療法人博愛	73	12.3	12	0.8	16	8.1	0	0	0	6
4827	230258	59	0501192	一般財団法人	212	4.5	4	0.8	143	13.8	0	0	0	1
4828	230249	59	0301031	医療法人学友	21	1.3	6	0	8	0	0	0	3	1
4829	230269	59	2001076	医療法人拓殖	7	2.7	10	4.8	13	1.7	0	0	5	0
4830	230432	59	0501192	医療法人拓殖	61	3.83	14	1.39	27	0	0	0	10	0
4831	230811	59	0101225	一般財										

2014年
病床機能報告
個票データ(年間)

連番	病院名	医療機関 診療科目	新造府庁番号 医療機関コード	医療機関住所	院名	連絡先	特定入居基本料	特定入院料	救急搬送料	救急医療管理加算	リハビリ料	在宅復帰料	在宅復帰加算	在宅復帰加算	在宅復帰加算
2299846	29		29000593	833-0081 桜井市藤川61-1	岡田その子医療課	0744-45-60744-45-1 okada-clinic	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2298754	29		1301121	833-533-2151 奈良県橿原市藤井 藤井 藤井	藤井 藤井	0745-07450745-0745 y.fuji@y.fuji	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2298492	29						0	0	0	0	0	0	0	0	0
2298439	29						0	0	0	0	0	0	0	0	0
2298134	29		0111182				0	0	0	0	0	0	0	0	0
2298111	29		0101980	831-0813 奈良県奈良市秋篠新田本郷二	藤井 藤井	0742-47-70742-47-7083	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2297836	29		01019247	836-836-4 奈良県大和郡山田市北沢町南新	藤井 藤井	0741-07410741-0741 makuhara101	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2014年
病床機能報告
レセプト基本項目
(6月診療分)

病床機能報告の項目

- レセプトから
 - 入院基本料(一般病棟入院基本料等)、特定入院料(特定機能病院入院基本料・救命救急入院料等)、有床診療所入院基本料など
 - 手術総数、全身麻酔の手術総数、胸腔・腹腔鏡下手術、内視鏡手術用支援機器加算、放射線治療など
 - がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況、重症患者への対応状況(持続緩徐式血液濾過、大動脈バルーンパンピング法、頭蓋内圧持続測定、人工心肺、血漿交換療法など)
 - 救急医療の実施状況(院内トリアージ実施料、休日夜間救急搬送医学管理料、救急医療管理加算など)
 - 急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況
 - 全身管理の状況(呼吸心拍監視、酸素吸入、ドレーン法、人工呼吸、経管栄養カテーテル交換法など)
 - リハビリテーションの実施状況(疾患別リハビリテーション料、早期リハビリテーション加算など)
 - 長期療養患者の受入状況、重度の障害児等の受入状況
 - スタッフ数(医師、看護師、准看護師、看護補助者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、臨床工学士の常勤・非常勤)
- 個票データから
 - 病床数(一般病棟・療養病棟、病床機能4区分、総病床数・稼働率、診療科)、入院患者数の状況(新規入棟患者数、在棟患者延べ数など)
 - 入棟前の場所・退棟先の場所別の入院患者の状況等、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者の割合
 - 救急医療の実施状況(休日に受診した患者延べ数、夜間に受診した患者延べ数、救急車の受入件数)、医療機器の台数(CT、MRIなど)
 - 退院調整部門の設置状況

411項目

急性期指標に近い項目

レセプトから

入院基本料(一般病棟入院基本料等)、特定入院料(特定機能病院入院基本料・救命救急入院料等)、有床診療所入院基本料など

手術総数、全身麻酔の手術総数、胸腔・腹腔鏡下手術、内視鏡手術用支援機器加算、放射線治療など

がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況、重症患者への対応状況(持続緩徐式血液濾過、大動脈バルーンパンピング法、頭蓋内圧持続測定、人工心肺、血漿交換療法など)

救急医療の実施状況(院内トリアージ実施料、休日夜間救急搬送医学管理料、救急医療管理加算など)

急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況

全身管理の状況(呼吸心拍監視、酸素吸入、ドレーン法、人工呼吸、経管栄養カテーテル交換法など)

リハビリテーションの実施状況(疾患別リハビリテーション料、早期リハビリテーション加算など)

長期療養患者の受入状況、重度の障害児等の受入状況

スタッフ数(医師、看護師、准看護師、看護補助者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、臨床工学士の常勤・非常勤)

個票データから

病床数(一般病棟・療養病棟、病床機能4区分、総病床数・稼働率、診療科)、入院患者数の状況(新規入棟患者数、在棟患者延べ数など)

入棟前の場所・退棟先の場所別の入院患者の状況等、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者の割合

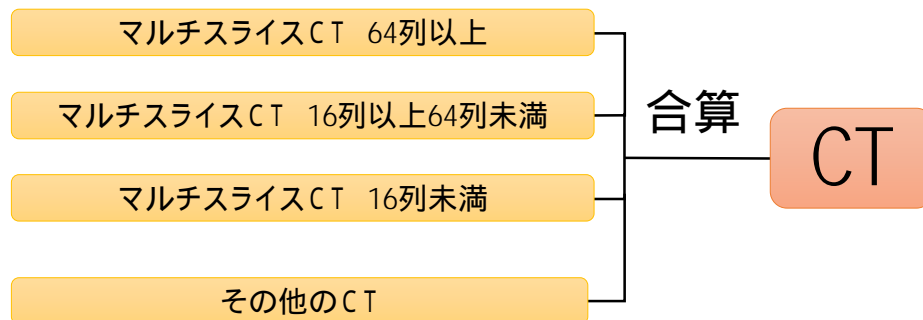
救急医療の実施状況(休日に受診した患者延べ数、夜間に受診した患者延べ数、救急車の受入件数)、医療機器の台数(CT、MRIなど)

退院調整部門の設置状況

217項目(下線)を使用

5

項目の縮約(例: CT)



CTについての項目・・・4項目(病床機能報告)

「急性期指標に近い項目」として選定(前スライド)

4項目を合算して1項目へ

「CT」という急性期指標

項目としては1項目へ縮約して

使用

6

急性期指標に投入した縮約項目

下記の70項目 (縮約前は217項目)

看護師、助産師、薬剤師、臨床工学士

新規入院患者数・うち救急の予定外入院、退棟患者、休日に受診した患者延べ数、夜間に受診した患者延べ数、救急車の受入件数

医療機器 (CT、MRI、血管連続撮影装置、SPECT、PET/PETCT、強度変調放射線治療器、遠隔操作式密封小線源治療装置)

全身麻酔による手術件数、人工心肺を用いた手術、腹腔鏡下手術、分娩件数

総手術件数、胸腔鏡下手術、脳外科的手術、心臓カテーテル、悪性腫瘍手術

病理組織標本作製、術中迅速病理組織標本作製、放射線治療、化学療法、がん患者指導管理料、抗悪性腫瘍剤局所持続注入、肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入、超急性期脳卒中加算

特定機能病院、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、小児入院医療管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、短期滞在手術等基本料

人工心肺、大動脈バルーンパンピング法、大動脈バルーンパンピング法、経皮的心肺補助法(PCPS)、人工透析、夜間休日救急搬送医学管理料、救急医療管理加算、救命のための気管内挿管、非開胸的心マッサージ、カウターショック、中心静脈注射、呼吸心拍監視、観血的動脈圧測定、ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄、人工呼吸(5時間を超えた場合)、ハイリスク分娩管理加算、ハイリスク妊産婦共同管理料、観血的肺動脈圧測定、補助人工心臓・植込型補助人工心臓、頭蓋内圧持続測定、院内トリアージ実施料

心大血管疾患、脳血管疾患等、運動器、呼吸器、がん患者、早期リハビリテーション加算

7

1. 病床数

●病棟毎の病床数

個々の病院ごとに、「一般・療養病床」のどちらか、「総病床数・稼働病床数」、「機能区分別」、「病床種別」を整理する。

(2014年奈良県病床機能報告 個票データ使用)

1. 医療圏	2. 病院名	3. ID (通知記載7桁コード)	4. 病棟	5. 病院が申請した機能区分				6. 病床種別		
serial			病棟名 一般/療養病床のどちらか	病床数	稼働数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
1	奈良 一般財団法人済井病院	1200811	一般病棟	56	56	0	56	0	0	0 内科、外科、整形外科
2	奈良 一般財団法人済井病院	1200811	療養病棟	56	56	0	0	56	0	56 内科、外科、整形外科
2	奈良 独立行政法人国立病院機構 奈良西成病院	1200892	3A病棟	50	50	0	0	50	0	50 脳神経外科
2	奈良 独立行政法人国立病院機構 奈良西成病院	1200892	南病棟	25	25	0	0	25	0	25 内科
2	奈良 独立行政法人国立病院機構 奈良西成病院	1200892	1A病棟	50	50	0	0	0	50	50 内科、小児科
2	奈良 独立行政法人国立病院機構 奈良西成病院	1200892	1B病棟	50	50	0	0	0	50	50 内科、小児科
2	奈良 独立行政法人国立病院機構 奈良西成病院	1200892	2A病棟	50	50	0	0	0	50	50 神経内科、内科、脳神経外科
2	奈良 独立行政法人国立病院機構 奈良西成病院	1200892	2B病棟	50	50	0	0	0	50	50 神経内科、内科、脳神経外科
3	奈良 医療法人社団石井会 石井会病院	1200905	南館2階病棟	42	42	0	0	0	0	42 小児科、神経内科、脳神経外科
3	奈良 医療法人社団石井会 石井会病院	1200905	南館3階病棟	療養	50	50	0	0	0	50 内科
3	奈良 医療法人社団石井会 石井会病院	1200905	東館2階病棟	一般	44	44	0	0	0	44 外科
3	奈良 医療法人社団石井会 石井会病院	1200905	東館3階病棟	一般	36	36	0	0	0	36 エンテリ、外科
3	奈良 医療法人社団石井会 石井会病院	1200905	本館3階病棟	療養	54	54	0	0	0	54 リハビリテーション科
3	奈良 医療法人社団石井会 石井会病院	1200905	本館4階病棟	療養	59	59	0	0	0	59 内科、外科
3	奈良 医療法人社団石井会 石井会病院	1200905	本館5階病棟	療養	59	59	0	0	0	59 外科
4	奈良 医療法人社団石井会 石井会病院	1200905	1病棟	28	28	0	0	0	0	28 小児科
5	奈良 医療法人宝山会 奈良小南病院	1201131	1病棟	60	60	0	0	0	0	60 内科、外科
6	奈良 地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター			28	28	0	0	0	0	28 リハビリテーション科
6	奈良 地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター			44	44	0	0	0	0	44 リハビリテーション科
6	奈良 地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター			45	45	0	0	0	0	45 内科、外科
6	奈良 地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター			23	23	0	0	0	0	23 外科
6	奈良 地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター			31	31	0	0	0	0	31 小児科
6	奈良 地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター			50	50	0	0	0	0	50 小児科
6	奈良 地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター			60	60	0	0	0	0	60 小児科

8

2. 診療科目

各病院の診療科を整理

(2014年奈良県病床機能報告 個票データ使用)

serial	1. 医療圏	2. 病院名	3. ID (通知記載の7桁コード)	4. 診療科目 (病院機能報告 奈良県2014 個票データよりホームページより)								
				診療科1	診療科2	診療科3	診療科4	診療科5	診療科6	診療科7	診療科8	
1	奈良	一般財団法人沢井病院	129081	内科	外科	整形外科	脳外科	放射線科	消化器内科	泌尿器内科	呼吸器内科	呼吸器内科
2	奈良	独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター	129082	呼吸器内科	神経内科	消化器内科	小児神経科	外科	整形外科	脳神経外科	脳神経外科	呼吸器外科
3	奈良	医療法人社仁会 奈良春日病院	129083	外科	神経内科	整形外科	整形外科	整形外科	消化器内科	呼吸器内科	老年内科	
4	奈良	医療法人社団清波会 石津会病院	129111	外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	
5	奈良	医療法人玉山会 奈良小南病院	129118	内科	脳神経内科	外科	放射線科	外科	消化器内科	消化器内科	小児科	
6	奈良	地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県立総合医療センター	129120	産婦人科	呼吸器内科	消化器内科	神経内科	外科	消化器内科	消化器内科	小児科	
7	奈良	医療法人協栄会 石川病院	129152	内科	整形外科	整形外科	整形外科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
8	奈良	医療法人協栄会 石川病院	129090	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
9	奈良	医療法人協栄会 石川病院	129086	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
10	奈良	奈良中央病院	129425	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
11	奈良	市立奈良病院	129426	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
12	奈良	奈良東九条病院	129427	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
13	奈良	医療法人同谷会 おかたに病院	129484	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
14	奈良	医療法人同谷会 おかたに病院	129524	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
15	奈良	医療法人同谷会 おかたに病院	129681	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
16	奈良	医療法人同谷会 おかたに病院	129748	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
17	奈良	医療法人同谷会 おかたに病院	129812	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
18	奈良	医療法人同谷会 おかたに病院	129826	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
19	奈良	医療法人同谷会 おかたに病院	129834	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
20	奈良	医療法人同谷会 おかたに病院	129891	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
21	奈良	医療法人同谷会 おかたに病院	129959	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	
22	奈良	医療法人同谷会 おかたに病院	129984	内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	

9

3. スタッフの配置(1)

・スタッフの配置を整理し一覧にまとめる

(2014年奈良県病床機能報告 個票データ使用、
医師のみ県庁より入手データ使用)

serial	1. 医療圏	2. ID (通知記載の7桁コード)	3. 病院名	4. 報告病床数 (2014年病院機能報告 個票データより)											5. スタッフの配置 (2014年病院機能報告 個票データより 医師数のみ)									
				合計	稼働病床数	一般	療養	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答	産婦人科病床数	産科	常勤	非常勤	総数	常勤	非常勤	総数	手術室	外来		
1	奈良	129081	一般財団法人沢井病院																					
2	奈良	129082	独立病院機構 奈良医療センター																					
3	奈良	129083	奈良春日病院																					
4	奈良	129111	石津会病院																					
5	奈良	129118	奈良小南病院																					
6	奈良	129120	奈良県立総合医療センター																					
7	奈良	129152	石川病院																					
8	奈良	129090	石川病院																					
9	奈良	129086	石川病院																					
10	奈良	129425	奈良中央病院																					
11	奈良	129426	市立奈良病院																					
12	奈良	129427	奈良東九条病院																					
13	奈良	129484	おかたに病院	150	150	100	50	0	100	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	奈良	129681	おかたに病院	117	117	117	0	0	117	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	奈良	129748	おかたに病院	249	249	199	50	0	199	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	奈良	129812	おかたに病院	98	98	98	0	0	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	奈良	129826	おかたに病院	98	98	98	0	0	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

10

3. スタッフの配置(2)

医師(平均値0.13)	看護師(平均値0.43)	助産師(平均値0.07)	薬剤師(平均値0.03)	臨床工学士(平均値0.02)	小計	准看護師(平均値0.11)	看護補助者(平均値0.23)	理学療法士(平均値0.08)	作業療法士(平均値0.06)	言語聴覚士(平均値0.02)
0.62	0.48	0	1.00	0	2.10	0.73	0.83	1.75	0.33	0
0.69	1.68	0	1.00	0.50	3.87	0.66	0.04	0.50	0.17	0.50
0.31	0.42	0	0.67	0	1.39	0.92	0.39	0.25	0	0
0.38	0.47	0	0.67	0	1.51	0.73	0.35	0	0	0
0.23	0.53	0	0	0	0.76	1.09	0.52	0.11	0	0
2.31	1.92	1.00	1.67	1.00	7.89	0.27	0.13	0.13	0	0
0.77	0.77	0	0.67	0	2.21	1.64	0.78	1.50	0	0
0.31	0.86	0	0.67	0	1.83	0.09	0.04	5.38	0	0
0.92	1.40	0	0.67	3.00	5.99	1.06	0.52	1.13	0	0
1.46	1.96	0	3.00	3.50	9.92	1.27	0.61	1.13	0	0
2.54	1.77	0.71	2.33	1.00	8.35	0.09	0.04	0.50	0	0
0.77	0.60	0	1.67	1.00	4.03	1.09	0.52	2.38	0	0
1.00	1.34	0	0.67	1.00	4.01	1.09	0.52	2.38	0	0
1.00	1.17	0	1.33	0	3.51	1.82	0.87	0.38	0	0
1.54	1.44	0	2.00	2.00	6.98	0.64	0.30	1.50	0	0
0.54	0.64	0	0.33	0	1.51	0.09	0.04	0.50	0.50	0.50

【評価対象より除外】
 ・准看護師や補助看護師は回復期・慢性期病院の方に人数が多くなる傾向あり。
 ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士も急性期のリハビリとして重要な存在ではあるが、慢性期や回復期にも多く配置がある。

看護師は、「その他の看護師数」に精神科病棟の看護師数が含まれているため、「その他」を除いた常勤・非常勤の「病棟」「外来」「手術室」の合計人数を入力。

薬剤師にも精神科の人数が含まれている。
 病院によって精神科の薬剤師の報告項目が違うため、下記計算方法で薬剤師数を算出。
 ・薬剤師の総人数 ÷ 精神科も含む病床数 × 精神科以外の病床数 = 薬剤師数

助産師、臨床工学士は「病棟」「外来」「手術室」「その他」すべての人数を入力。

3. スタッフの配置(ポイント算出方法)

医師(平均値0.13)	看護師(平均値0.43)	助産師(平均値0.07)	薬剤師(平均値0.03)	臨床工学士(平均値0.02)	小計	准看護師(平均値0.11)	看護補助者(平均値0.23)	理学療法士(平均値0.08)	作業療法士(平均値0.06)	言語聴覚士(平均値0.02)
0.62	0.48	0	1.00	0	2.10	0.73	0.83	1.75	0.33	0
0.69	1.68	0	1.00	0.50	3.87	0.66	0.04	0.50	0.17	0.50
0.31	0.42	0	0.67	0	1.39	0.92	0.39	0.25	0	0
0.38	0.47	0	0.67	0	1.51	0.73	0.35	0	0	0
0.23	0.53	0	0	0	0.76	1.09	0.52	0.11	0	0
2.31	1.92	1.00	1.67	1.00	7.89	0.27	0.13	0.13	0	0
0.77	0.77	0	0.67	0	2.21	1.64	0.78	1.50	0	0
0.31	0.86	0	0.67	0	1.83	0.09	0.04	5.38	0	0
0.92	1.40	0	0.67	3.00	5.99	1.06	0.52	1.13	0	0
1.46	1.96	0	3.00	3.50	9.92	1.27	0.61	1.13	0	0
2.54	1.77	0.71	2.33	1.00	8.35	0.09	0.04	0.50	0	0
0.77	0.60	0	1.67	1.00	4.03	1.09	0.52	2.38	0	0
1.00	1.34	0	0.67	1.00	4.01	1.09	0.52	2.38	0	0
1.00	1.17	0	1.33	0	3.51	1.82	0.87	0.38	0	0
1.54	1.44	0	2.00	2.00	6.98	0.64	0.30	1.50	0	0
0.54	0.64	0	0.33	0	1.51	0.09	0.04	0.50	0.50	0.50
0.69	0.63	0	0.67	0	1.99	0	0	0	0	0
0.92	1.07	0	1.00	1.00	3.99	0.55	0.26	1.13	0.33	0.50

【看護師】
 (その他の看護師数は除いた常勤・非常勤合計) ÷ 総病床数 = A
 Aが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
 Aが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

【医師・助産師・臨床工学士】
 すべての所属の常勤・非常勤合計 ÷ 総病床数 = A
 Aが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
 Aが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

【薬剤師】
 すべての所属の常勤・非常勤合計 = A (病院全体の薬剤師数)
 A ÷ (精神科病床数 + 一般病床数) × 一般病床数 = B (一般病床に割当てた薬剤師数)
 B ÷ 総病床数 = C
 Cが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
 Cが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

4. 入院患者・救急医療の状況

(2014年奈良県病床機能報告 個票データ使用)

新規入院患者数(平均値)	うち救急の予定外入院(平均値)	退棟患者(平均値)	休日に受診した患者延べ数(平均値)	夜間に受診した患者延べ数(平均値)	救急車の受入件数(平均値)	小計	新規入院患者		
							予定入院の患者・院内他病棟からの転棟患者(平均値)	救急以外の予定外入院(平均値)	在棟患者延べ数(平均値)
0.82	1.45	0.86	1.37	0.73	1.78	7.01	0.00	0.00	0.00
0.39	0.24	0.40	0.12	0.05	0.32	1.52	0.00	0.00	0.00
0.22	0.02	0.22	0.04	0.03	0.02	0.55	0.00	0.00	0.00
0.59	1.61	0.61	3.31	1.70	3.25	11.07	0.00	0.00	0.00
0.40	0.66	0.41	0.11	0.27	0.73	2.58	0.00	0.00	0.00
2.01	2.63	0.21	1.14	1.03	0.81	7.83	1.00	0.00	0.00
0.76	0.37	0.79	1.61	0.25	0.89	4.67	0.00	0.00	0.00
0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00
1.47	0.07	1.37	0.43	0.30	0.48	4.12	0.00	0.00	0.00
0.79	0.54	1.86	0.81	1.33	1.52	6.85	1.00	0.00	0.00
1.92	1.86	1.99	1.05	1.36	2.35	10.53	2.00	0.00	0.00
0.61	1.46	0.64	0.46	0.36	0.66	4.19	0.00	0.00	0.00
1.12	1.46	1.10	0.68	0.75	0.53	5.67	0.00	0.00	0.00
0.93	1.28	0.94	1.06	0.77	1.10	6.10	0.57	0.69	1.31
1.53	1.55	1.58	1.37	1.10	0.91	8.04	1.47	0.62	1.15
0.01									
1.93									
0.49									
1.66									

【算出方法】
 報告数 ÷ 総病床数 = A
 Aが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
 Aが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

新規入院患者数(平均値)	うち救急の予定外入院(平均値)	退棟患者(平均値)	休日に受診した患者延べ数(平均値)	夜間に受診した患者延べ数(平均値)	救急車の受入件数(平均値)	小計	新規入院患者		
10.70	3.79	10.28	5.11	9.30	4.21	6.09	2.36	257.98	

13

5. 医療機器、保有設備

(2014年奈良県病床機能報告 個票データ使用)

6. 医療機器ポイント (2014年病院機能報告 個票データより) 台数に関わらず医療機器を設置・保有していれば1とする														7. 院内保有設備ポイント(2014年病院機能報告 個票データCHPより) ベッド数に関わらず設備保有し機能していれば1とする														
CT	MRI	血管造影装置	SPECT	PET/ETCT	PET/RI	強度変調放射線治療装置	遠隔操作式密封小線源治療装置	大動脈バルーンポンピング法	補助人工心臓	中間計算(資料再掲)	合計=中間計算値÷平均値(2.61)	手術室	リハビリ室	ER	ICU	CCU	HCU	SCU	NICU	GCU	MFICU	熱傷ベッド	産婦人科病床	精神科病床	中間計算(資料再掲)	合計=中間計算値÷平均値(2.40)	地域包括ケア病床	
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.77	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.42	
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.77	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.83	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.42	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2.50	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.42	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.42	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.25	50床
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.83	

14

5. 医療機器、保有設備(算出方法)

6. 医療機器ポイント (2014年病院機能報告 個票データより) 台数に関わらず医療機器を設置・保有していれば1とする													7. 院内保有設備ポイント(2014年病院機能報告 個票データとHPより) ベッド数に関わらず設備保有し機能していれば1とする														
CT	MRI	血管造影装置	SPECT	PET/ETCT	PET/RI	強度変調放射線治療装置	遠隔操作型放射線治療装置	大動脈カテーテルポンピング法	補助人工心臓	中間計測(資料再掲)	合計=中間計測値÷平均値(2.61)	手術室	リハビリ室	ER	ICU	CCU	HCU	SCU	NICU	GCU	MFICU	準備ベッド	産婦人科病床	精神科病床	中間計測(資料再掲)	合計=中間計測値÷平均値(2.40)	地域包括ケア病床
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.77	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.42
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.77	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.83	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.38	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.83	
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1.15	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.83	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.38	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.42	
1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	5	1.92	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	6	2.50	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.38	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.42	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.42	
1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	5	1.92	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1.25	
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.77	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.83		

保有台数に関わらず保有して医療機器の役割を果たせる状態であれば各 種類毎に1をカウント・・・A
 Aの9項目のポイントを合計・・・B
 Bが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
 Bが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

15

6. 総合入院体制加算1、2にかかる施設基準

(2014年奈良県病床機能報告 個票データ、奈良県ホームページ使用)

【分娩件数のみ】県庁より「県内医療機関別分別取扱い件数」平成26年度年間データ使用

8. 総合入院体制加算1、2にかかる施設基準										
(病床機能報告集計/奈良県2014/ローデータより)					県HPより					
全身麻酔による手術件数(平均値 2.36)	人工心臓を用いた手術(平均値 0.18)	悪性腫瘍手術	腹腔鏡下手術(平均値 0.49)	放射線治療(体外照射法)(平均値 3.01)	化学療法	分娩件数(県庁データより)(平均値 12.40)	合計	第三次救急(24時間体制救急実施)	第二次救急(24時間体制救急実施)	精神科
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.30	0	9	0.36	0.19	1	0	0.85	×	×	×
0	0	0	0.28	0	0	0	0.28	×	×	×
0.11	0	手	0	0	0	0	0.11	×	×	×
0	0	術	0	0	が	0	0	×	×	×
1.88	0	術	1.13	2.06	が	1.29	6.36	×	×	×
0.99	0	術	0	0	が	0	0.99	×	×	×
0	0	/	0	0	が	0	0	×	×	×
1.42	0	年	0.59	0	卒	0	2.01	×	×	×
2.14	0	間	1.32	0	中	0	3.46	×	×	×
1.80	0	推	1.88	0.74	中	1.41	5.83	×	×	×

総合入院体制加算は総合的かつ専門的な急性期医療を24時間提供できる体制等を持つ病院を評価するもの。

【ポイント算出方法】
 レセプト報告数×12か月=A(年間推計)
 A÷総病床数=B
 Bが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
 Bが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

(病床機能報告集計/奈良県2014/ローデータより)					県HPより					
全身麻酔による手術件数(平均値 2.36)	人工心臓を用いた手術(平均値 0.18)	悪性腫瘍手術	腹腔鏡下手術(平均値 0.49)	放射線治療(体外照射法)(平均値 3.01)	化学療法	分娩件数(県庁データより)(平均値 12.40)	合計	第三次救急(24時間体制救急実施)	第二次救急(24時間体制救急実施)	精神科病床有/24時間対応
2.36	0.18		0.49	3.01		12.40				

【分娩件数】
 平成26年度年間データ÷総病床数=A
 全病院のAの合計÷Aが0以外の病院数=B(平均値)
 A÷B=ポイント

16

7. 手術件数(1)

- 年間データがないため、2014年6月診療分データに12を乗じた数字を年間推計値として算出。
(2014年度奈良県病床機能報告 レセプト基本項目使用)

serial	1. 医療機関D(英数字7桁コード)	2. 医療機関D(英数字7桁コード)	3. 病院名	4. 総手術件数		5. 腹腔鏡下手術			
				平成26年6月診療分	×12ヶ月(年間推計値)	平成26年6月診療分	×12ヶ月(年間推計値)	K145 穿頭脳室ドレナージ術	K146 頭蓋開溝術
1	奈良	1290811	一般財団法人沢井病院	18	216	0	0	0	0
2	奈良	1290892	独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター	21	252	0	0	0	0
3	奈良	1290905	医療法人新仁会 奈良春日病	2	24	0	0	0	0
4	奈良	129113	医療法人新仁会 五洲会 奈良小南病	2	24	0	0	0	0
5	奈良	129116	医療法人新仁会 五洲会 奈良小南病	2	24	0	0	0	0
6	奈良	129142	医療法人新仁会 五洲会 奈良小南病	36	432	0	0	0	0
7	奈良	532	博愛会松宮病院	7	84	0	0	0	0
8	奈良	1292950	医療法人社団生和会 登美ヶ丘リハビリテーション病院	0	0	0	0	0	0
9	奈良	1293846	医療法人康仁	137	1644	0	0	0	0
10	奈良	1294258	社会医療法人 中央病院	110	1320	0	0	0	0
11	奈良	1294464	市立奈良病院	480	5760	0	0	0	0
12	奈良	1294681	奈良東九条病院	9	108	0	0	0	0
13	奈良	1295624	医療法人岡谷会 本かたに病院	6	72	0	0	0	0
14	奈良	1296961	奈良西部病院	0	0	0	0	0	0

レセプトデータは「レセプト算定日数」で算出しているが、ないものについては「レセプト件数」を算出し、さらには「レセプト算定回数」で算出。

17

7. 手術件数(2)開頭術

- 年間データがないため、2014年6月診療分データに12を乗じた数字を年間推計値として算出。(県庁よりデータ入手)

6. 脳神経外科手術集計(2014年6月診療分・算定日数より)		6. 脳神経外科手術集計	
K145 穿頭脳室ドレナージ術	0	K156 延髄における脊髄視床路切截術	0
K147 穿頭術(トレパナチオン)	0	K157 三叉神経節後線維切截術	0
K148 試験開頭術	0	K158 視神経管開放術	0
K149 減圧開頭術	0	K160 脳神経手術(開頭して行うもの)	0
K150 脳腫瘍摘出術	0	K161 頭蓋内微小血管減圧術	0
K151-2 広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建	0	K162 頭蓋骨腫瘍摘出術	0
K152 耳性頭蓋内合併症手術	0	K163 頭皮、頭蓋骨悪性腫瘍手術	0
K152-2 耳科的硬脳膜外腫瘍切開術	0	K164 頭蓋骨膜下血腫摘出術	0
K153 鼻性頭蓋内合併症手術	0	K164-2 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	0
K154 機能的定位脳手術	0	K164-3 脳血管塞栓(血栓)摘出術	0
K155 脳切截術(開頭して行うもの)	0	K164-4 定位的脳内血腫除去術	0
K165 脳内異物摘出術	0	K166 脳腫瘍全摘術	0
K166 脳腫瘍全摘術	0	K167 頭蓋内腫瘍摘出術	0
K167 頭蓋内腫瘍摘出術	0	K168 脳切除術	0
K168 脳切除術	0	K169 頭蓋内腫瘍摘出術	0
K169 頭蓋内腫瘍摘出術	0	K170 脳動脈瘤摘出術	0
K170 脳動脈瘤摘出術	0	K171 脳・脳膜脱手術	0
K171 脳・脳膜脱手術	0	K172 水頭症手術	0
K172 水頭症手術	0	K173 髄液シャント抜去術	0
K173 髄液シャント抜去術	0	K174 脳動脈瘤被包術	0
K174 脳動脈瘤被包術	0	K175 脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭して行うもの)	0
K175 脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭して行うもの)	0	K176 脳血管内手術	0
K176 脳血管内手術	0		
K177 脳血管内手術	0		
K178 脳血管内手術	0		

18

7. 手術件数(3) 心臓カテーテル

- 年間データがないため、2014年6月診療分データに12を乗じた数字を年間推計値として算出。(県庁よりデータ入手)

7. 循環器内科心カテ・循環器の重症者治療法集計(2014年6月診療分・算定日数より)

K540	K547	K548	K549	K550-2	K550	K595	K615	K620	D206	D206	E003	E003	K600	K602	L008-2	合計	合計× 12ヶ月 (年間推 計値)	
経皮的冠動脈形成術	経皮的冠動脈粥腫切除術	経皮的冠動脈形成	経皮的冠動脈ステント留置	経皮的冠動脈血栓吸引術	経皮的冠動脈内血栓治療法	経皮的中隔心筋焼灼術	血管塞栓術	下大静脈フィルター留置	心臓カテーテル法(右心カテ)	心臓カテーテル法(左心カテ)	動脈造影カテ法(分枝血管選択的)	動脈造影カテ法(その他)	大動脈バルーンパンピング(人数)	経皮的肺補助法(人数)	低体温療法(人数)			
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	11	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	15	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第8款 心・脈管

- K546 経皮的冠動脈形成術
- K547 経皮的冠動脈粥腫切除術
- K548 経皮的冠動脈形成
- K549 経皮的冠動脈ステント留置
- K550-2 経皮的冠動脈血栓吸引術
- K550 経皮的冠動脈内血栓溶解
- K595 経皮的中隔心筋焼灼術
- K615 血管塞栓術
- K620 下大静脈フィルター留置
- D206 心臓カテーテル法(右心カテ)
- 心臓カテーテル法(左心カテ)
- E003 動脈造影カテ法(分枝血管選択的撮影)
- 動脈造影カテ法(その他)
- K600 大動脈バルーンパンピング(人数)
- K602 経皮的肺補助法(人数)
- L008-2 低体温療法(人数)

7. 循環器内科心カテ・循環器の重症者治療法集計

19

7. 手術件数(4)

9. 手術件数

総手術件数(平均値4.81)	胸腔鏡下手術(平均値0.20)	脳外科的手術(平均値0.27)	心臓カテーテル(平均値0.87)	悪性腫瘍手術(平均値0.7)	小計
0.41	0	0	0	0	
0.28	0	1.30	0.65		
0.03	0	0	0		
0.32	0	0.96	0		
0.03	0	0	0		
1.75	1.35	1.45	1.00	2.	
0.63	0	0	0		
0	0	0	0		
1.38	0	0	0.50	0.	
1.65	0	0	0	0.70	2.35
3.42	0	1.15	1.18	1.99	7.74

手術件数をひと項目にまとめ入力。

[ポイント算出方法]
 レセプト報告数×12か月=A(年間推計)
 A÷総病床数=B
 Bが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
 Bが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

20

8. がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況

- 年間データがないため、2014年6月診療分データに12を乗じた数字を年間推計値として算出。(レセプトデータ使用)

病理組織標本作製(平均値2.00)	術中迅速病理組織標本作製(平均値0.35)	放射線治療(レセプト件数)(平均値0.40)	化学療法(平均値2.61)	がん患者指導料1及び2(平均値0.09)	抗悪性腫瘍剤局所持続注入(平均値0.54)	肝動脈血栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入(平均値0.67)	超急性期脳卒中加算(レセプト件数)(平均値0.04)	小計
0.54	0	0	0	0	0	0	0	0.54
0.22	0	0.10	0.23	0	0	0	2.25	2.80
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0.39	0	0	0	0	0.39
2.17	0.23	1.68	1.70	0.89	0.67	0	0	7.34
0.18	0	0	0	0	0	0	0	0.18
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.73	0	0	0.57	0	0	0	0	1.30
1.59	0	0	0.44	0.78	0	0	0	2.81
2.76	1.86	0.53	1.41	1.56	0	0	0.75	8.87
0.50	0	0	0	0	0	0	0	0.50
0.46	0	0	0	0	0	0	0	0.46

ポイント算出方法

レセプト報告数 × 12か月 = A(年間推計)

A ÷ 総病床数 = B

Bが0または欠損値以外の病院数で偏差値化

Bが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

病理組織標本作製(平均値2.00)	術中迅速病理組織標本作製(平均値0.35)	放射線治療(レセプト件数)(平均値0.40)	化学療法(平均値2.61)	がん患者指導料1及び2(平均値0.09)	抗悪性腫瘍剤局所持続注入(平均値0.54)	肝動脈血栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入(平均値0.67)	超急性期脳卒中加算(レセプト件数)(平均値0.04)
-------------------	-----------------------	------------------------	---------------	----------------------	-----------------------	-------------------------------	----------------------------

21

9. 入院基本料の算定

- 年間データがないため、2014年6月診療分データに12を乗じた数字を年間推計値として算出。(レセプトデータ使用)

特定機能病院入院基本料(平均値223.5)	救命救急入院料(平均値3.34)	特定集中治療室管理料(平均値2.81)	ハイケアユニット入院医療管理料(平均値3.50)	脳卒中ケアユニット入院医療管理料(平均値1.44)	新生児特定集中治療室管理料(平均値1.39)	新生児治療回復入院医療管理料(平均値1.24)	小児入院医療管理料(平均値12.59)	総合周産期特定集中治療室管理料(平均値1.36)	短期滞在手術等基本料(平均値1.36)	一般病棟13対1入院基本料(平均値213.05)	一般病棟10対1入院基本料(平均値185.71)	一般病棟15対1入院基本料(平均値128.34)	一般病棟特別入院基本料(平均値119.26)	一般病棟特別入院基本料(平均値18.70)	一般病棟特別入院基本料(平均値1.25)	療養病棟入院基本料(平均値106.94)	回復期リハビリテーション病棟入院料(平均値4.76)	療養等特別入院料(平均値277.36)	障害者医療等入院料(平均値200.80)	特殊医療等入院料(平均値18.16)	急性期医療管理料(平均値)	地域包括ケア病院入院料(平均値28.70)	緩和ケア病棟入院料(平均値)		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.07	0	0	0	0	0.90	0	2.22	0.92	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0.45	0.45	0	0.39	0	0	0	0	0	0	2.04	2.00	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.39	0	0.51	0.59	0.73	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.26	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.65	0	0	1.17	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.36	0.01	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.59	0	0	1.15	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.80	0	0.38	0	0	0	0	0	0	

ポイント算出方法

レセプト報告数 × 12か月 = A(年間推計)

A ÷ 総病床数 = B

Bが0または欠損値以外の病院数で偏差値化

Bが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

HCUやICUを保有していると報告で申請していても現状その役割が機能しているかはレセプトデータの反映が判断材料となる。

22

10. 救急医療の実施・重症患者への対応

- 年間データがないため、2014年6月診療分データに12を乗じた数字を年間推計値として算出。(レセプトデータ使用)

12. 救急医療の実施・重症患者への対応/年間推計														
人工心肺(平均値0.18)	大動脈バルーンポンピング法(平均値0.08)	経皮的な心臓補助法(PCPS)(平均値0.08)	人工透析(平均値5.41)	夜間休日救急搬送医療管理料(平均値0.65)	救命のための気管内挿管(平均値0.19)	救命のための気管内挿管(平均値0.19)	非開胸的マージ(平均値0.18)	カウンタースョック(平均値0.10)	中心静脈注射(平均値18.99)	呼吸心拍監視(平均値19.28)	観血的動脈圧測定(1時間を越えた場合)(平均値1.4)	ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄(平均値7.4)	人工呼吸(5時間を越えた場合)(平均値8.78)	小計
0	0	0	0	1.00	1.26	0	0.62	0	1.63	0.96	0	0.04	0	5.51
0	0	0	0	0.06	0.31	0.21	0	0	0.24	0.25	0	0.61	4.38	6.06
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.07	0.27	0	0	0	0.34
0	0	0	0	1.58	0.98	0.70	0	0	0.77	0	0.07	0	0	4.10
0	0	0	0	3.03	0.37	0	0.39	0	0.55	0.09	0	0.18	0.46	5.07
0	1.98	0.39	0.43	0	1.62	1.77	1.24	0.61	0.34	0.68	1.62	2.61	0.27	13.56
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.08	0	0.19	0	0.27
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	3.26	0	0.25	0.27	0.56	0.51	1.19	2.67	0.60	0.44	10.11
0	0	0	1.28	0	0.46	0.38	0.39	0	0.61	0.77	0	0.83	0.30	5.02
0	0.55	0	0.07	1.80	2.99	1.29	0.39	1.43	0.49	0.19	0.40	2.44	0.41	12.45
0	0	0	1.48	0	1.59	0	0	0	1.42	0.49	0	0.67	0.59	6.24
0	0	0	1.48	0.25	1.92	1.71	0	0	0.21	0.91	0	0.28	0.26	7.92
0	0	0	0	0.78	0.53	0	0	0	4.85	1.43	0	0.91	6.68	15.18
2.39	0	0.70	0.29	0.69	0	0	0	2.44	0.43	1.71	1.95	0.88	0.80	12.28

ポイント算出方法
 レセプト報告数 × 12か月
 =A(年間推計)
 A ÷ 総病床数=B
 Bが0または欠損値以外の
 病院数で偏差値化
 Bが0または欠損値の病院
 の偏差値を0とする

人工心肺(平均値0.18)	大動脈バルーンポンピング法(平均値0.08)	経皮的な心臓補助法(PCPS)(平均値0.08)	人工透析(平均値5.41)	夜間休日救急搬送医療管理料(平均値0.65)	救命のための気管内挿管(平均値0.19)	救命のための気管内挿管(平均値0.19)	非開胸的マージ(平均値0.18)	カウンタースョック(平均値0.10)	中心静脈注射(平均値18.99)	呼吸心拍監視(平均値19.28)	観血的動脈圧測定(1時間を越えた場合)(平均値1.4)	ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄(平均値7.4)	人工呼吸(5時間を越えた場合)(平均値8.78)
---------------	------------------------	--------------------------	---------------	------------------------	----------------------	----------------------	------------------	--------------------	------------------	------------------	-----------------------------	--------------------------	--------------------------

11. 疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況

- 年間データがないため、2014年6月診療分データに12を乗じた数字を年間推計値として算出。(レセプトデータ使用)

13. 早期からのリハビリテーションの実施状況/年間推計						
心大血管疾患等リハビリテーション料(平均値7.18)	脳血管疾患等リハビリテーション料(平均値54.1)	運動器リハビリテーション料(平均値45.79)	呼吸器リハビリテーション料(平均値6.64)	がん患者リハビリテーション料(平均値3.41)	早期リハビリテーション加算料(平均値36.29)	障害児リハビリテーション料(平均値30.0)
0	0.57	2.77	0	0	1.39	4.73
0	1.05	0.30	0.81	0	0.56	2.71
0	0.37	0.04	0.08	0	0.07	0.66
0	0	0	0	0	0	0
0	0.65	0.36	0	0	0.05	1.06
0.37	0.20	0.12	0.76	0.86	0.01	2.32
0	0	4.71	0	0	0	4.71
0	1.37	0.64	0	0	0.16	2.17
0	1.33	1.36	0	0	2.13	4.82
0	0.27	1.37	2.31	0	1.68	5.63
1.25	0.96	0.39	1.66	0	1.93	6.19
0	0	2.07	2.56	0	1.17	5.80
0	0	2.74	1.05	1.04	0	1.48
0	1.25	0.39	1.67	0	0.51	3.82

ポイント算出方法
 レセプト報告数 × 12か月=A(年間推計)
 A ÷ 総病床数=B
 Bが0または欠損値以外の病院数で偏差値化
 Bが0または欠損値の病院の偏差値を0とする

心大血管疾患等リハビリテーション料(平均値7.18)	脳血管疾患等リハビリテーション料(平均値54.1)	運動器リハビリテーション料(平均値45.79)	呼吸器リハビリテーション料(平均値6.64)	がん患者リハビリテーション料(平均値3.41)	早期リハビリテーション加算料(平均値36.29)
----------------------------	---------------------------	-------------------------	------------------------	-------------------------	--------------------------

急性期指標の算出

- 各項目の小計ポイントを総合計して算出。
(見やすさのため、合計値を50で割る)

図 8.2 奈良県における急性期指標

奈良県急性期指標 (総病床数で計算)

医療圏	病院名	ポイント
中和		74.38
奈良		65.96
東和		65.38
東和		64.75
西和		62.80
奈良		60.13
西和		56.85
奈良	未公表	50.83
中和		48.69
中和		46.11
西和		42.06
西和		40.25
東和		38.34
奈良		37.58
南和		37.31

1

奈良県二次医療圏別・奈良 (総病床数で計算)

医療圏	病院名	ポイント
奈良		65.96
奈良		60.13
奈良		50.83
奈良		37.58
奈良		31.64
奈良		30.91
奈良		27.98
奈良		24.82
奈良		21.90
奈良	未公表	21.01
奈良		20.75
奈良		20.51
奈良		18.20
奈良		17.18
奈良		12.92
奈良		10.37
奈良		8.01
奈良		4.53
奈良		4.16
奈良		1.98

2

奈良県二次医療圏別・西和(総病床数で計算)

医療圏	病院名	ポイント
西和		62.80
西和		56.85
西和		42.06
西和		40.25
西和		33.03
西和		32.03
西和		30.74
西和		30.69
西和	未公表	28.00
西和		20.58
西和		17.73
西和		10.98
西和		6.28
西和		6.17
西和		5.39
西和		4.78
西和		3.08

3

奈良県二次医療圏別・東和(総病床数で計算)

医療圏	病院名	ポイント
東和		65.38
東和		64.75
東和		38.34
東和		31.94
東和		22.18
東和		20.39
東和	未公表	17.69
東和		11.82
東和		11.50
東和		9.33
東和		8.75
東和		7.98

4

奈良県二次医療圏別・中和(総病床数で計算)

医療圏	病院名	ポイント
中和		74.38
中和		48.69
中和		46.11
中和		34.22
中和		33.78
中和		32.77
中和		31.12
中和		28.14
中和	未公表	27.10
中和		19.88
中和		13.57
中和		10.40
中和		4.2
中和		3.65
中和		2.92
中和		2.90
中和		1.53

5

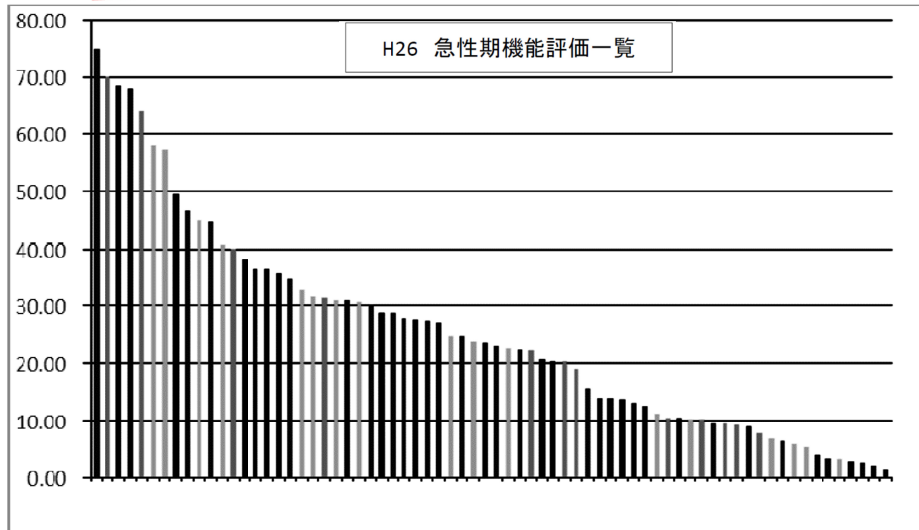
奈良県二次医療圏別・南和(総病床数で計算)

医療圏	病院名	ポイント
南和		37.31
南和		25.52
南和	未公表	17.98
南和		12.26
南和		2.00

6

奈良県全体の分布

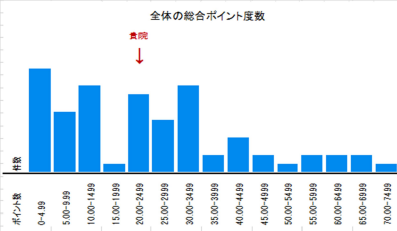
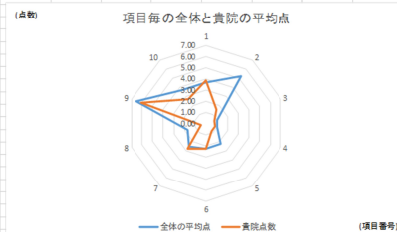
大 数値化による急性期機能の傾向 小



7

病院ごとのスコア表(例)

医療機能	ID(通知記載の7桁コード)	病院名
1. 急性期医療に必須医療スタッフ体制	ポイント 合計	7. がん臨床中心診療室等への治療状況
医師	0.68	0.22
看護師	1.68	0.00
助産師	0.00	0.10
薬剤師	1.00	0.25
臨床工学士	0.50	0.00
2. 入院患者・救急医療の状況	ポイント 合計	8. 入院基本料の算定
新規入院患者数	0.39	0.00
予兆緊急の予定外入院	0.24	2.25
連絡患者	0.40	0.00
休日に受診した患者延べ数	0.12	0.00
夜間に受診した患者延べ数	0.05	0.00
救急車の受入件数	0.32	0.00
3. 医療機器	保有数 ポイント 合計	9. 救急医療の実施・重症患者への対応
CT	1.00	0.00
MRI	1.00	0.00
血管造影撮影装置	0.00	0.00
SPECT	0.00	0.00
PET/CT	0.00	0.00
腫瘍放射線治療装置	0.00	0.43
遠隔操作式密着小線源治療装置	0.00	0.00
大動脈バルーンバルーン法	0.00	0.00
補助人工心臓	0.00	0.00
4. 院内保有設備	保有数 ポイント 合計	10. 早期からのリハビリテーションの実施状況
手術室	1.00	0.06
リハビリ室	1.00	0.31
ER	0.00	0.00
ICU	0.00	0.00
CCU	0.00	0.00
HCU	0.00	0.24
SCU	0.00	0.25
NCU	0.00	0.00
CCU	0.00	0.61
MICU	0.00	4.38
熱傷ベッド	0.00	0.00
産婦人科病床	0.00	0.00
精神科病床	0.00	0.00
保有数合計	2.00	0.30
5. 総合入院体加算1,2に該当する施設基準	ポイント 合計	11. がん患者リハビリテーション料
全身麻酔による手術件数	0.30	0.00
人工心臓を扱った手術	0.00	1.05
腫瘍放射線治療装置	0.30	0.30
放射線治療(体外照射法)	0.19	0.81
分娩件数	0.00	0.00
6. 手術件数	ポイント 合計	12. がん患者リハビリテーション料
総手術件数	2.23	0.00
胸腔鏡下手術	0.00	0.00
脳神経外科手術	1.30	0.00
心臓カテーテル	0.85	0.00
慢性腎臓病手術	0.00	0.00



8